

逗子市教育委員会教育長 様

逗子市立沼間小学校長
(公 印 省 略)

平成30年度 「学校関係者評価」 年度末評価について（報告）

次のとおり 平成30年度 学校関係者評価における年度末評価をご報告します。

三つの柱	項 目 (重点としたものに○)	学校の目標達成状況及び学校の取組の適切さ、改善方策について等の意見（外部評価者からの指摘を基に記載）
I 授業づくり	1 授業力の向上	<p>1. 今年度から、逗子市教育委員会の委託を受け、2ヶ年計画で体育の実践を通して「主体的・対話的で深い学び」について追究し、市内外に発信できるような研究をスタートさせた。評価委員の一人からは、「様々な学校で『主体的・対話的で深い学び』をキーワードに研究を行っているが、これらの言葉は、こういうものであると定義付けできるものではない。子ども同士だけでなく、家庭との連携の中で深い学びが生まれることもある。『主体的・対話的で深い学び』の形態は学習の内容や進展状態によって様々である。特に体育科では多方面への広がり期待できる。」とアドバイスをいただいた。また、今年度の学校評価アンケート（児童向け）の「自分の意見を持ち、相手に伝わるように発表しているか」の項目では、4年生で「そう思う」と回答した児童が39%、5年生では25%、6年生になると22%と、学年が上がるにつれて評価が低くなってしまっている。今後は、児童が主体的に学ぶような、指導法の工夫・改善を積極的に行い、指導力の向上を図って行く必要がある。</p> <p>2. 委託研究を受けたこともあり、授業の様子をビデオで撮影し、子どもたちと見合うことで、より難易度の高い技へのチャレンジやチームワークの向上を図ることができた。また、委員からは、多くの学級で、パソコンやプロジェクター等ITC機器を活用した取り組みがなされ、視覚的に工夫して学習の定着を図っているという意見をいただいた。今後、タブレットが導入された場合、それらの機器を教員がどう活かしていくかが課題になるとご指摘いただいた。</p>
	2 多様な教育活動の充実	
II 集団づくり	1 認め合う集団づくりをめざして	<p>1. 委員からは、学年が上がるにつれ、子ども同士のよりよい関係が深まっており、また学年を越えた「たてわり活動」では、緊張気味の1年生を6年生が包み込むように優しくフォローしている姿が良かったという声が聞かれた。別の委員からも、低・中・高学年ともに、子どもたちはお互いに関わり合う中で、1年を通して、共に成長している様子が伺えたという話もあった。主体的で対話的なよりよい集団を形成し、集団としての活動を進めるためにも、今後とも一層、仲間と協働し課題に対して積極的に解決を図ろうとする学習を多く取り入れていく必要性を感じた。</p>
III 学校組織づくり	1 支援教育の推進	<p>1. 「たんぼぼ級」の子どもたちがごく自然に交流級で学んでいる姿が良い。また、「たんぼぼ級」の個別の学習では、「個に応じた指導・支援」をきめ細やかに行っているという感想が複数の委員から聞かれた。しかし、せっかく個に応じた指導</p>

2 安全・安心に向けた 取り組み	<p>を行っても、それが、子どものどのような面を育てることを目的に行い、そしてその児童にとってどの程度効果が上がったのかを、具体的に、保護者に伝えていく必要がある。</p>
3 研修・研究の充実	<p>2 児童の登下校時に交通指導員がなくなりましたが、地域の方、保護者ボランティア、PTA校外委員、旗振り当番の方等が率先して、児童の見守りを行ってくださった。ただ、年末に近隣でお年寄りと本校児童が接触し、お年寄りが倒れ救急搬送される事案があった。今後も一層、逗子警察と協力し、交通安全教室等の指導の充実を図っていく必要性を感じた。挨拶に関しては、委員のひとりから、</p>
4 開かれた学校づくり	<p>最近は、児童の方から進んで挨拶をしてくることが多くなったという感想をいただいた。</p> <p>3. 逗子市教育委員会の委託研究では、スーパーバイザーの小林先生、研究講師の梅澤先生に指導を仰ぎ、理論と実践の一体化を目指し、テーマに基づいた研究推進ができた。しかし、同時に課題も見えてきたので、残りの年間を通して、実践研究を続けていき、次年度の秋には提案性のある発表を目指したい。また、成果を児童の授業や指導に還元して行ってほしいという要望があった。</p> <p>4. PTA活動については、任意団体のため、今後は運営がだんだんと難しくなるだろう。そうなった場合、保護者の意見をどう学校経営に反映していくのが課題となる。保護者には、無理の無い範囲で、積極的にPTA活動に関わってもらいたい旨を年度当初にアピールしていく必要がある。また、地域には、学校はどのような方針で教育を進めているのか、どのような特色のある活動を行っているのかなどをホームページやフェイスブックを使い、積極的にアピールしていった方が良い。また、授業参観だけ出席し、懇談会になると帰ってしまう保護者が多い。ある先生は、学級の活動をビデオで流したり、スライドを上映したりしている。懇談会は直接先生と話が出来、クラスの様子、子どもたちの活動の様子を知るよい機会である。是、非参加率の良い最初の懇談会で多くの保護者の参加を呼びかける努力をしていただきたい。</p>